

令和6年度 第1回理事会 第2号議案資料

令和5年度 事業報告書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

1. 翔裕園
2. 馬室たんぽぽ翔裕園
3. こうのすたんぽぽ翔裕園
4. ふきあげ翔裕園
5. 夢工房翔裕園
6. 栗橋翔裕園／ケアハウス栗橋翔裕園
7. 栗橋ナーシングホーム翔裕園／栗橋グループホーム翔裕園
8. 蓮田ナーシングホーム翔裕園
9. かわぐち翔裕園
10. しょうぶ翔裕園
11. 国見ナーシングホーム翔裕園
12. 亀岡老人福祉センター
13. 国見あおば翔裕園
14. 南方ナーシングホーム翔裕園／南方グループホーム翔裕園
15. ケアホテルすみさん家
16. たかのす翔裕園
17. くまもと龍田翔裕園
18. にしはら翔裕園
19. くにさき翔裕園

社会福祉法人元気村

令和 5 年度
第 31 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
翔裕園

令和5年度 翔裕園 事業報告

施設基本方針

Make Shoyuen Great Again
～ やっぱり翔裕園ってすごいよね～

施設年度目標

“わくわく”しながらクリエイティブな仕事ができる環境作り

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

職員の「やってみたい」を応援するプロジェクトの一つとして「ピザを作ろうプロジェクト」を実施。中庭にピザ窯を作製し、ピザの具にする野菜を育てる畑も作ることができました。まだピザを焼けていないが、試しで焼き芋を窯で焼き利用者にも楽しんでもらうことができます。GG式ノーリフティングプログラムは残念ながらGOLDスコア取得はできませんでした。取り組みをとおり、職員から床走行式の移乗用リフト導入の要望があり、1月からメーカーの協力を得てデモ機を導入。既にリフトを導入しているかむりの里へ担当者が赴いて取り組みの内容などを研修させてもらうことができました。次年度も継続して取り組んでいく予定です。

②組織力の強化

特養介護課の組織力強化に向けて役職者を増員し、また相談・医務・栄養課にも主任を配置しました。それぞれ責任感を持って取り組んでいますが、まだ有機的に機能するには至っておりません。要因として、各々の役割が不明確であることが考えられるので、そこを明確化することで改善が図れると考えています。相談課の再編については、下半期に業務分担を見直したことで上半期に比較し、スムーズに行えるようになっていきます。職員満足度調査で「仕事への誇り・ステータス」項目のポイント15%アップを目標としましたが、5.5%にとどまりました。理念研修をしっかりと進める必要があると思われるので、実施していきます。

③採用力の強化

イベントの様子だけでなく、職員の日常の取り組みとして、ピザ窯製作や畑作りなどの様子をインスタグラムで発信。インスタグラムを見て翔裕園で働いてみたいという常勤介護スタッフを1名採用することができました。また、全員人事制度で、2名を採用することもできました。採用面接には各セクションの役職者も同席することで、入職前からの関係作りを目指しました。残念ながら1名は1月に満たない早期退職となってしまいました。

④生産性の向上

介護ソフトをしっかりと活用することで業務効率を上げ、利用者との関わりや残業時間削減を目指しました。医務課のカルテ記載を手書きからPC入力にすることで、残業時間29%の削減に繋げることができました。特養介護課におけるクロスシフトは、人員不足により取り掛かることができませんでした。次年度は、10時間シフトの必要性を含めた基本的な部分からタスクシフトまでを考えて効率性を高められぬかを検証していきたいと思っております。

⑤収益力の向上

ショートステイの平均稼働率103%以上を目標としていましたが、100.9%と未達となりました。また、特養入所者の退所後の新規入所までのロスが課題として残り、次年度は速やかな入所を実現していきたいと思っております。デイサービスは平均稼働率 92%以上の目標に対し、95.3%と達成することができました。イベント実施による追加利用の促しが効果的だったと考えられます。

【全体総括】

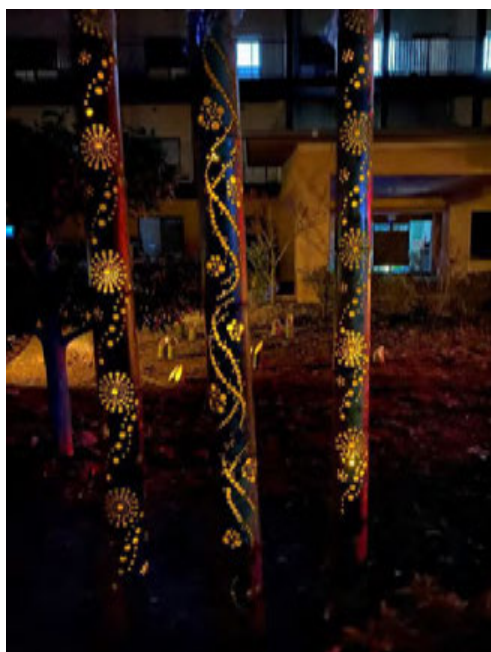
法人設立30周年という節目の年で、地域の方々にも感謝を伝えるイベントとして「30祭」をブロックイベントとして実施しました。この節目の年に今までの良いところは残し、新しく生まれ変わるべきところは生まれ変わるべく、「職員のやってみたい」を応援するプロジェクトなどに取り組み、そしてより強い組織となるよう新しい組織作りを目指しました。残念ながら大きな変化としては現れませんが、種まきから小さいながらも芽が出た1年となったと思っております。2回のコロナクラスターもあり思うようにことを進めることが難しい1年でしたが、少しずつ変化してきています。次年度も引き続き進化できるよう取り組んでいきたいと思っております。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	98.4	98.5	99.1	99.2	99.2	95.6	95.7	96.1	94.1	95.3	95.3	90.3	96.4%
	R5 目標	97.4	97.4	97.4	97.4	97.4	97.4	97.4	97.4	97.4	97.4	97.4	97.4	97.4%
	R5 実績	89.5	91.2	90.8	92.3	96.3	95.8	96.7	96.6	92.4	90.8	94.5	94.7	93.5%
短期	R4 実績	109.5	111.2	90.3	106.0	108.7	59.0	111.9	114.6	91.6	102.7	102.5	90.8	99.9%
	R5 目標	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0	103.0%
	R5 実績	89.2	100.5	100.8	120.1	97.3	96.7	101.5	104.6	99.3	106.7	99.7	94.3	100.9%
通所	R4 実績	88.8	90.7	96.3	92.9	87.7	99.4	96.3	94.3	97.6	94.8	82.8	99.8	93.5%
	R5 目標	90.0	92.0	94.0	92.0	90.0	94.0	93.0	93.0	91.0	90.0	90.0	92.0	91.8%
	R5 実績	99.3	97.9	99.4	98.7	95.1	97.4	95.2	92.4	91.3	91.9	94.5	90.3	95.3%
爽やか通所	R4 実績	48.4	52.4	52.5	47.0	42.8	45.0	48.3	46.4	46.5	47.0	47.3	47.0	47.6%
	R5 目標	50.0	50.0	50.0	52.0	53.0	55.0	60.0	60.0	60.5	59.5	60.5	61.0	56.0%
	R5 実績	52.0	47.8	45.2	41.0	36.8	42.9	42.7	40.7	41.5	39.8	37.9	35.5	42.0%
居室(件数)	R4 実績	195.5	203	207	216.5	219	228.5	235.5	236.5	235.5	238.5	236	236.5	224.0件
	R5 目標	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231	231.0件
	R5 実績	235	226	228	228	231.5	228	229.5	228.5		230.5	215	234.5	228.6件

令和 5 年度
第 20 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
馬室たんぽぽ翔裕園

令和5年度 馬室たんぽぽ翔裕園 事業報告

施設基本方針

生活に彩りを～ご利用者も職員も外に出て活動しよう～

施設年度目標

ご利用者の心身の健康が維持できるよう、専門職として自らのスキルを磨き、サービスの質を向上さ

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

- ・今年度はユニットを隔てて外出・アクティビティを企画実施し、職員も入居者様も他ユニットと交流が持て施設内外の交流を持つことができた。
- ・グリーンカーテンにも挑戦し、協力体制が深まる。
- ・包括・特養職員による小学校への出前講座は、福祉機器業者とのコラボ・PTによる体操も盛り込まれより体験型で楽しく学べる機会を提供できた。またヤングケアラーに対する意識を持つこともできた。
- ・GG式認知症ケアプログラムではGOLD達成は出来なかったが、ロールプレイングを中心に浸透が進められた。

②組織力の強化

- ・理念研修を実施することができず、組織としての体制を一人一人が意識することができなかった。
- ・ES調査での「やりがいのある職場」での項目で16%低下してしまった。
- ・会議を持つことにより主任、副主任の役割が少しずつ果たせるようになってきた。

③採用力の強化

- ・施設内での採用活動用動画は作成できなかった。
- ・インスタグラムで施設内の取り組みを各行事ごとに発信でき、それを見ての応募者が1名あり。
- ・実習生から選ばられる施設環境づくりとして、指導できる職員を増やすため4名が実習指導者研修を受講した。
- ・メンター会議で情報共有し問題は早めに改善して体制を整え介護職実習生3名(前年度0名)、社会福祉士実習生4名を受け入れた。

④生産性の向上

- ・デイサービス⇔特養・ユニット⇔従来 間での入浴介助・食事介助時の協力体制はとれるようになってきている。
- ・他部署内、多職種間で協力し、2か月に1回の外出・外食イベントを実施することができた。
- ・感染マニュアルの見直しは随時行い、物品管理を行うことで発生時の対応の混乱が減少した。
- ・事務書類の書式を見直すことにより一部のペーパーレス化をすすめられた。

⑤収益力の向上

- ・特養 従来型 97.6%(-0.5%) 看取りへ移行が遅れ入院につながったケースが多く稼働低下につながった
ユニット型 97.7%(-0.7%) 慢性の持病により入退院を繰り返すケース家族との連携を密に持つことが必要
通所 88%(-0.5%) 後半に体調不良者が増加に対応しきれなかった。営業への姿勢の見直しが課題
- ・通所では、中重度ケア体制加算は予定通り10月より算定することができた。
- ・喀痰吸引職員1名

【全体総括】

・コロナが明け、生活に彩りが添えられるよう取り組みが行えました。業務の上では、セクションの枠を超え業務支援を行い横のつながりが強まりました。3ユニット合同で外出アクティビティを企画、実施できたことは、ご利用者にとっても鮮やかな思い出となり、職員にとっても仲間の意識が深められ楽しい介護が経験できたと思います。出前講座では、施設職員も参加し専門知識をつたえる場として地域とのつながりを深められ馬室たんぽぽの存在を広める機会に定着しつつあります。稼働では、往診医・病院・家族・施設が情報を共有し同じ方向に向けるように連携を深めることで稼働の安定が望めます。デイサービスでは稼働の低下に即時に対応できなかったことを反省し、積極的な営業意識が強まりました。職員が職務に関して同じ意識を持ち団結力が増すように理念研修を定着すること。採用を進め職員が安心して働ける環境を作ること、役割を明確にして組織を築くことが今後の課題となります。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養 (従来)	R4 実績	94.3	93.8	98.4	99.4	98.9	99.3	98.1	97.6	97.1	96.9	98.7	97.3	97.5%
	R5 目標	99.0	98.5	98.5	98.0	98.5	98.5	98.5	97.0	98.5	96.0	98.0	98.0	98.1%
	R5 実績	91.6	95.6	96.3	99.4	98.5	98.5	96.5	97.4	99.3	98.4	99.7	99.6	97.6%
特養 (ユニット)	R4 実績	96.9	99.0	94.4	97.9	99.7	99.7	99.5	97.6	96.8	96.3	97.2	96.7	97.6%
	R5 目標	99.0	99.0	99.0	98.0	98.0	98.0	99.0	99.0	98.0	99.0	99.0	98.0	98.6%
	R5 実績	97.9	97.2	98.1	99.5	99.4	96.9	96.7	97.3	95.5	98.1	98.4	97.9	97.7%
通所	R4 実績	90.1	88.2	93.0	91.3	83.9	87.6	88.9	79.6	80.4	87.4	86.5	89.5	87.2%
	R5 目標	88.0	89.0	89.0	86.0	86.0	89.0	90.0	90.0	90.0	89.0	88.0	88.0	88.5%
	R5 実績	90.2	90.1	90.5	92.0	88.6	91.0	88.5	90.0	87.4	83.6	81.0	82.7	88.0%

令和 5 年度
第 19 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
こうのすたんぽぽ翔裕園

令和5年度 こうのすたんぽぽ翔裕園 事業報告

施設基本方針
～心をひとつに～ 現場主義の全体への浸透
施設年度目標
現場主義・・・自由な発想でご利用者の生きがいを叶え、 ご利用者とともに達成感を得、共に感動する。
重点項目に対する実績報告
<p>①差別化/付加価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが5類となった事をきっかけに、感染対策は継続しながらも幼老世代間交流を毎月開催。子供と利用者との合同クッキング・利用者による紙芝居の読み聞かせ・子供達による誕生日会の開催等、双方の生活に楽しみとうるおいを提供する事が出来た。 ・地域協働イベント「GENKIフェイス」を企画。多くの地域の団体や企業と繋がる事が出来た一年。地元トマト農家の直売所を施設内に設置。 ・GG式ノーリフティングへの取組みは、浸透・実行に至らなかった。会議の進め方や周知手段に課題があった為、今後改善していく。 <p>②組織力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念浸透研修実践編～対チーム前半・後半～を一年通してを実施。ポスト職(主任以上)が講師となり、研修を展開しており、自分の言葉で理念を語る職員が増えてきている。(講師が出来る職員数:9人)職員満足度調査結果、理念・ビジョンへの共感項目平均58.3%。5つの項目のうち3つが前年対比+10%以上と向上。同じく職員満足度調査における働きやすい環境項目平均が前年対比10%以上向上。男性職員が4名育児休暇を取得した事が大きかったと分析。 ・施設内研修の改善・改革に関しては、大きな変化を与える事が出来なかった。今後取り組んでいく。 <p>③採用力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東福祉専門学校による研修を翔裕園・馬室・こうのすたんぽぽ・しょうぶの新卒者に向け毎月実施。施設を跨いだ新卒者同士の繋がりが構築が出来た。当施設に関しては、4名新卒者を迎え入れ、高卒入職者は早期に退職してしまったが、残りの3名は現在も活躍している。 ・インスタフォロワー1000人から2000人へ増やす目標を立て、年度内に達成。 ・近隣市内高校との関係構築は未達。高卒採用目標2名に対し、実績は1名とこちらも未達。 <p>④生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入済みなIOT、ICTの評価を行うと計画立案したが、抽象的な評価であり中途半端な結果としてしまった。今後は全てにおいて数値化・定量化した評価実績を残していく。 ・騎西特別支援学校とのデュアルシステム構築に向け動き、トライアル済み。令和6年4月から本格稼働出来るように調整出来た。次年度からは学生が月2～4日施設に来て、施設業務を通して社会を経験。施設としては無償で環境整備に力を入れる事が出来るようになっていく予定。 <p>⑤収益力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養稼働目標未達。重症化する前の早期受診に関して、具体的な手段と仕組みを施設として作れなかった事が要因。入居調整スピードは前年よりも早くなってきている為、稼働率維持のための課題は入院者数。 ・短期稼働目標達成。特養入院者の空床利用、緊急の受入れを迅速に行えた事が結果として反映。 ・通所稼働目標達成。利用者アンケートに応じたアクティビティを実施。昔ながらのデイである為、次年度、更に進化させていく。 ・訪問目標件数未達。登録ヘルパーや非常勤職員の確保、業務の効率化が課題であり、未達要因。 <p>【全体総括】</p> <p>職員満足度調査において、前年対比-10%以上となった項目は1つのみであり、前年対比+10%以上となった項目が14個という結果。上記取組が数値に表れていると考えるが、まだまだ満足してはいけない数字。職員の働きやすい環境を求め、今後も業務効率化・生産性の向上に関する取り組みを進めていく。当施設の課題は収益の安定と費用部分の管理。事業費・事務費もそうだが、人件費部分の見直しを行っていく事で、職員の頑張りを職員の給与(賞与)に反映していける施設としていく。</p>

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	96.4	94.6	95.3	94.6	96.0	96.7	94.2	92.4	96.4	95.6	96.0	98.2	95.5%
	R5 目標	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5%
	R5 実績	95.7	96.4	97.0	97.8	93.9	97.5	95.7	95.2	94.7	96.0	97.5	97.1	96.2%
短期	R4 実績	88.5	92.6	103.0	101.8	108.2	102.8	98.9	99.7	94.7	105.8	100.7	100.8	99.8%
	R5 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0%
	R5 実績	100.2	98.9	98.3	101.9	106.3	98.5	106.8	100.3	109.8	99.2	100.2	107.0	102.3%
通所	R4 実績	89.9	89.9	87.2	85.0	82.1	83.7	88.8	53.3	79.6	81.9	83.9	85.2	82.5%
	R5 目標	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0	88.0%
	R5 実績	89.1	89.6	91.2	90.4	88.5	90.0	88.1	85.8	91.4	90.6	94.1	88.5	89.8%
訪問 (件数)	R4 実績	513	537	522	580	573	538	580	588	667	587	595	665	578.8件
	R5 目標	520	561	541	541	588	550	577	577	577	611	688	709	586.7件
	R5 実績	526	552	539	514	518	539	544	509	523	460	468	477	514.1件

令和 5 年度
第 7 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村

ふきあげ翔裕園

令和5年度 ふきあげ翔裕園 事業報告

施設基本方針

”想い”を大切に、”変化のある年”を楽しもう！

施設年度目標

- ・自己研鑽に励み、専門性やスキルを向上し、そして活動/活躍の場を広げる。
- ・業務の効率化を常に意識し、スキルアップや試行錯誤をし効率化を図る。
- ・時代や環境の変化に対応し、既存に縛られず、新しい発想を持って挑戦する。
- ・訪問介護の運営安定に向けて、施設全体で取り組む。

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

- ・ご利用者の生きがいを叶えるために、家庭菜園の拡大、しいたけ栽培、調理アクティビティ、カフェ外出などを実施し好評だった。
- ・地域イベントは、子供向けDIYや秋祭り、イルミネーションなど年4回開催し、多くの地域の方が来園され楽しまれた。
- ・4月に訪問介護事業所を開設し、介護を受けられる体制となった。介護度が上がっても質の高いケアができるよう次年度も継続課題

②組織力の強化

- ・前年まで管理職1名体制だったが、4月に課長1名配置、9月に副主任3名配置し組織体制構築を図り、組織力向上へ繋がっている。
- ・ES調査は、理念ビジョンの項目で58.1%(前年対比+2.1%)、やりがい項目53.8%(前年対比+5.5%)と全体的に向上が見られた。
- ・取り組みとして、懇親会年2回、常勤職員プレゼン大会、やりたいことへの挑戦など行った。

③採用力の強化

- ・問い合わせ15件、採用3名(介護福祉士1、実務者1、ドライバー1)。採用枠なしの場合は他施設へ5件紹介し、2件採用へ繋がった。
- ・応募者の通勤距離などの調査を実施。インスタ投稿は20代職員に任せPRを行っている。引き続き次年度も継続していく。

④生産性の向上

- ・営業チラシ作成ツールとしてCanvaを導入。使用できる職員が1名→5名に増え、チラシのクオリティも向上している。
- ・第4Qに業務効率の研修を受け、次年度に向けて取り組んでいる。また、ラインワークスも導入し情報共有の改善を行っている。

⑤収益力の向上

【住宅型有料】年間平均稼働率 92.5% (目標95%、対目標比-2.5%、対前年比-1.7%)

- ・第1～2Qで退去等あり稼働低下となったが下期で稼働向上し3月は稼働率100%で着地。補助金等もあり収益予算達成となった。
- ・医療機関との関係性も構築でき2件の入居につながった。
- ・介護保険サービス利用率:61% 介護保険サービス利用料:2,333万/年

【デイサービス】年間平均稼働率 82.0% (目標80.0%、対目標比2.0%、対前年比9.6%)

- ・営業月平均:目標80件 実績87件 新規獲得月平均:目標4件 実績4件
- ・欠席者を減らす取り組みとして、外出イベント(コスモス、紫陽花など)や体験イベント(ポッチャ、パターゴルフなど)を開催。
- ・新規は毎月獲得でき、下期に稼働向上がみられたことで稼働/収益ともに目標達成となった。

【居宅】年間平均件数 43件(目標42.1件、対目標比+0.9件、対前年比0.8件)

- ・第1Qは38件数未達となったが、第2Qにケアマネ変更したことで件数増加し下期は平均44件/月となり目標達成となった。
- ・認定調査は年間33件とプラン収益以外に収益増あり。また、訪問介護サ責とMTGを実施し、入居者の訪問件数増に繋がっている。

【訪問介護】年間平均件数395件(目標件数703件、対目標比-308件)

- ・令和5年4月開所。入居者へ訪問介護を提供しているが、第1Q後半から有料稼働低下にともない訪問件数減となってしまった。
- ・対策として、有料の入居者獲得、ケアマネ/サ責/管理職で毎週MTG実施。訪問件数増に繋がり、下期は対上期156件/月となった。

【施設全体】

- ・訪問介護は収益未達ではあったが他事業で目標達成したことで下期でカバーでき、通期で収益・経常ともに目標達成となった。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
住宅型 有料	R4 実績	89.3	95.3	98.2	98.2	96.6	97.0	93.7	89.7	95.0	95.0	92.4	90.0	94.2%
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0%
	R5 実績	95.0	90.8	85.0	85.0	84.0	89.3	95.0	95.0	93.8	96.9	100.0	100.0	92.5%
通所	R4 実績	69.1	68.2	72.2	73.3	62.8	73.1	74.1	72.1	75.1	75.6	78.3	75.1	72.4%
	R5 目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0%
	R5 実績	78.7	78.2	81.0	80.0	77.7	80.0	84.1	86.4	85.5	84.3	83.6	84.1	82.0%
居宅 (件数)	R4 実績	41.0	42.5	42.5	42.5	42.5	39.5	41.5	42.0	41.5	40.5	39.5	40.0	41.3件
	R5 目標	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0	43.0件
	R5 実績	38.5	37.5	38.0	41.0	44.5	43.5	44.5	44.5	42.5	43.5	43.0	44.5	42.1件
訪問介護 (件数)	R4 実績													#DIV/0!
	R5 目標	220.0	375.0	525.0	756.0	756.0	756.0	756.0	756.0	756.0	975.0	825.0	975.0	702.6件
	R5 実績	348.0	333.0	307.0	310.0	294.0	308.0	433.0	448.0	442.0	456.0	526.0	531.0	394.7件

令和 5 年度
第 14 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村

夢工房翔裕園

令和5年度 夢工房翔裕園 事業報告

施設基本方針	
就労支援サービスとして障害特性を活かした一般就労を目指せる支援を実践する	
施設年度目標	
【就労移行支援】	利用者獲得に向けなりふり構わず行動する
【就労継続支援B型】	生産活動を通じて利用者の職業能力の開発向上を図る
【全体】	既成概念に囚われない支援を実施する
重点項目に対する実績報告	
	結果報告
①「差別化/付加価値をどのようなものをどのように作っていくか」	
移行支援 ……	多種多様な訓練メニューで3名(年度内)の就労者を輩出する ⇒ 3名の就労 達成
継続B型 ……	生産活動において利用者主体の作業を提供し1名の就労者を輩出する ⇒ なし 未達
②組織力の強化	
理念浸透 ……	法人内講師による施設内研修を実施、朝礼で職員クレドカレンダーを毎日唱和する ⇒ 実施 達成
ES調査 ……	令和4年度レベル(74.0%、グレードカンパニー)の更なる向上 ⇒ 令和5年度グレカ年度維持
③「採用力の強化(面接力やマーケティング力含む)」	
	定着率維持。新規事業に向けサービス管理責任者等基礎研修の受講 ⇒ 受講済5名 達成
④「生産性の向上(人員配置基準の中で人件費やシフトをどのようにコントロールするのか)」	
職員配置 ……	新規事業を見据え、非常勤職員を採用し常勤率を抑える ⇒ 退職者がいないため採用なし
営業日数 ……	利用者が通所できる日数を最大限営業する ⇒ 251日 達成 (R4:244日)
⑤「収益力向上」	
就労移行 ……	GenkiGroup式収益力改善プログラムを実践し、月営業件数30件。令和5年度就労者3名。 ⇒ 就労者3名 達成
継続B型 ……	【食品】①法人内販売 ②自販機、キッチンカー販売 ③丸山製麺ヌードルツアーズ自販機に元気餃子販売 ⇒ 23,013,216円/年売上 達成
	【農園】感染対策型の安心安全な収穫体験を提供する。 ⇒ 10,454,271円/年売上 達成
	【受託作業】不備率を減らし効率を上げ完成率を上げる。 ⇒ 3,150,989円/年売上 達成
	上記の生産活動により 平均工賃は、工賃総額8,080,960円/月平均利用者数261.62人 ⇒ 平均工賃30,888円/月 達成
⑥報告事項 ……	7月27日ソーシャルスキルトレーニングVRの視察で前厚生労働省大臣加藤勝信氏来園される 騎西特別支援学校と連携強化(VR体験、作業体験、キッチンカーを利用した買い物体験)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
移行支援	R4 実績	46.0	50.0	44.5	40.5	45.9	52.0	53.0	43.8	44.0	40.5	52.6	54.1	47.2%
	R5 目標	80.0	85.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	70.0	60.0	60.0	82.1%
	R5 実績	76.0	79.5	85.9	87.1	83.2	82.4	92.7	80.5	76.7	61.5	52.5	63.0	76.8%
継続B型	R4 実績	91.5	93.2	103.8	99.0	89.2	99.0	94.8	92.9	90.4	89.3	86.8	90.2	93.3%
	R5 目標	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0%
	R5 実績	98.8	93.5	93.4	88.7	90.9	82.3	86.0	91.1	92.1	89.8	90.2	96.3	91.1%
総合	R4 実績	78.1	80.5	86.4	81.8	76.5	85.1	82.5	78.4	76.8	74.9	76.8	79.5	79.8%
	R5 目標	93.0	95.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	90.0	88.0	88.0	93.8%
	R5 実績	92.1	89.4	91.2	88.2	88.6	82.4	88.0	88.0	87.5	81.5	79.1	86.5	86.9%

令和 5 年度
第 30 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
栗橋翔裕園
ケアハウス栗橋翔裕園

令和5年度 栗橋翔裕園 事業報告

施設基本方針	
<p>繋ぐ、繋げる、繋がる想いをテーマに 地域が一番星となる施設、組織として輝いていこう</p>	
施設年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域合同のイベントを開催し、地域の一員としての交流を図る。 ・共に働く仲間を皆で探し得て、地域で最先端の介護をする。 	
重点項目に対する実績報告	
<p>①「差別化/付加価値」 栗橋翔裕園5事業(特養、デイ、ケアハウス、居宅、訪問介護)の垣根を超えた連携による地域貢献 敬老会他、季節を感じる行事を開催。翔裕園の日(秋祭り)には久喜市で子育てをしながら資格を活かしたママたちが作り上げる「おひさまマルシェ」を施設で合同開催させていただき、地域の方々とふれあい、施設ご利用者へのサービス向上と地域交流の場の大切さを職員が「知ること」ことができました。 忙しく日常できなかった取り組みも、現在は何かをできるという考えに施設全体が変化し始めており、6年度も地域、ご利用者に喜んでいただけるイベントの企画、開催をいたします。 中学校より福祉事業の実施が可能であることを伝え、令和6年度依頼を受け実施を予定。福祉への理解、地域福祉の向上をさらに進めてまいります。</p> <p>②「組織力の強化」 各事業を担当する課長・係長を配置し、課長・係長会議を定期実施し、全事業の情報共有。職員状況共有による部署を超えた協力体制ができました。経験や在籍年数ではなく、適正や評価をもとに各課を担当する主任、副主任(介護課)を配置し新しい風を吹かせる組織作り、報連相体制を明確にし相談しやすく働きやすい職場環境づくりを行いました。また、他部署との交流も増えスタッフ間の連携が向上。職員満足度調査より「社員間の関係性」11.9%、「上司への信頼」10.2%改善しました。 施設全体でこれまでの体制を作り直すため、以前より委員会を増やし、皆で話す機会を設けて、課題解決を全員で考える意識が向上しています。</p> <p>③「採用力の強化(面接力やマーケティング力含む)」 全員人事手当の周知を継続し制度が定着、採用実績2名。採用面接を施設長のほか副施設長、課長も対応。業務説明、質問対応を主任も対応し、問い合わせに迅速・丁寧に対応できる体制としました。令和5年度採用実績 新卒3名 中途10名。内退職1名。令和6年度 新卒3名採用。 令和6年度は海外人財の採用、育成も併せて必要な時間帯への非常勤採用、適切な労働時間の提案と先々をみこした常勤、非常勤職員採用に取り組んでまいります。</p> <p>④「生産性の向上」 ICT技術の活用と、基本業務の見直し、便利家電を活用。介護の必要度に応じて同じ居室へ異動いただくことや、とろみサーバーの導入など業務効率化を推進。作業時間の短縮とご利用者への安全の両立し、元気グループ高齢者介護研究会において、優秀賞を獲得しております。 夜勤職員の明け業務を見直し残業減少。天井走行リフトの使用定着、セラピストによるフレックスボード使用講習等、福祉機器を積極的に活用し職員健康管理も推進。6年度も新しい取り組みを継続し生産性向上推進加算算定も目指してまいります。</p> <p>⑤「収益力向上」 医療機関、行政機関との確認を行い、看取り介護加算の算定。また、経口維持加算も8月より算定を開始し、安定稼働とサービス向上により特養(ショート)、訪問介護、居宅介護支援事業で年度目標達成。</p> <p>【全体総括】 困っている情報が速やかに共有されることで他事業やフロア間から応援に行く基盤ができ、職員間の協力体制、組織力が向上しました。 今後、職員一人一人が積極的に意見を交換し、現場主義、想いを形にする運営を構築してまいります。</p>	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	96.0	93.9	91.4	92.8	94.7	95.2	95.1	95.2	94.1	95.7	96.2	96.9	94.8%
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0%
	R5 実績	96.6	94.3	91.9	95.1	91.8	92.2	94.8	96.0	95.1	95.1	94.2	94.6	94.3%
短期	R4 実績	110.3	124.5	124.5	117.4	127.7	96.0	105.1	105.0	109.0	117.7	123.9	116.4	114.8%
	R5 目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%
	R5 実績	106.0	117.7	128.0	121.0	123.5	118.0	114.2	119.0	106.8	114.2	110.3	115.5	116.2%
通所	R4 実績	88.8	90.3	90.3	93.1	88.3	94.6	91.9	87.9	88.2	86.9	88.1	90.3	89.9%
	R5 目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0%
	R5 実績	91.3	87.0	85.9	87.5	83.5	88.8	89.4	90.2	88.1	90.2	90.6	88.6	88.4%
軽費	R4 実績	93.3	97.7	97.7	93.7	96.2	95.7	92.2	93.2	95.8	89.3	90.0	93.7	94.0%
	R5 目標	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5%
	R5 実績	95.6	90.8	87.5	91.5	91.5	92.4	90.3	91.1	95.6	88.5	90.6	89.2	91.2%
訪問 (件数)	R4 実績	279	270	278	315	360	331	298	315	312	317	349	297	310.1件
	R5 目標	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320	320.0件
	R5 実績	339	335	378	343	333	263	297	276	311	316	342	341	322.8件
居宅 (件数)	R4 実績	112	115	114	115	113	118	120	123	117	118	120	116	116.8件
	R5 目標	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120.0件
	R5 実績	120	125	129	135	128	131	130	128	123	133	123	133	128.2件

令和 5 年度
第 25 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
栗橋ナーシングホーム翔裕園
栗橋グループホーム翔裕園

令和5年度 栗橋ナーシングホーム翔裕園 事業報告

施設基本方針

地域共生社会の実現。
住民一人ひとり、ご利用者一人ひとりの暮らしと生きがい、地域と共に生きる施設へ

施設年度目標

- ・老健で関わっている職種から地域に情報発信していく。
- ・在宅復帰にこだわる多職種との連携をして在宅復帰率50%と在宅強化型算定へ
- ・老健はリハビリの色が強くてでているが楽しめる施設とも選べられる施設へ

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

自宅での生活をあきらめないとかかげ、介護職、看護、リハ技師、その他多職種で在宅復帰を目指した取り組みを実施。令和5年度では在宅復帰件数34件の実績となり、それに伴い下期には在宅強化型算定への移行も達成。また、アクティビティーの強化ではご利用者が自発的に楽しみながら活動出来るよう菜園場の構築や、新たなアクティビティスペースとして、ご利用者が気軽に季節を感じられるよう屋上スペースを開放、車イスのご利用者でも楽しめるようバリアフリーでの環境を構築してまいりました。

②組織力の強化

組織力の強化では、職種問わず全ての職員が同じ目的意識を持ち組織力の強化へと繋がるようCompass研修の実施と、風通しのよい組織を目指し施設内の人事異動を計画建て取り組みを行ってまいりました。新卒職員や中途採用職員へはCompass研修理解編を実施、クレド研修では年間22回予定し11回の開催実績となります。施設内での計画建てた人事異動では年4回を予定しておりましたが、職員の入退職に合わせた人事異動となりR6年度での課題となります。

③採用力の強化

採用力の強化では実習生の受け入れを強化し採用力教化へ繋がるよう取り組みを実施。基本的には職種は問わず、実習の依頼を受けた際には全て受けてまいりました。介護実習生3名・看護実習生15名・リハ実習生8名・社会福祉士実習生1名の受け入れ実績となります。また全員人事の取り組みも強化し各部署ごとに周知してまいりました。R5年度の実績では常勤採用1名、非常勤採用3名と、合計4名の採用に繋がっております。

④生産性の向上

生産性の向上では、設備環境の改善と、職員育成に取り組んでまいりました。設備改善では、Wi-Fi環境を見直しを行い改善、またデスクトップパソコンよりノートパソコンへの入れ回を実施、施設内のどの場所からでも介護ソフトを使用することが可能となり、生産性の向上に繋がっております。職員育成での生産性の向上では次世代の中核職員育成を意識し、施設内委員会の委員長や、施設イベントでの実行委員長などに選任し実績を得る準備段階の年度となりました。令和6年度では5年度に活躍した職員への昇格を予定しております。

⑤収益力の向上

収益力向上では老健の基本型算定より在宅強化型算定への移行、入院者減少への取り組み、営業強化など様々な活動を実施。実績では在宅強化型算定への移行達成、入院者の減少では前年度実績にて18件の減少、営業強化では元気グループ栗橋近隣地域施設での合同営業会議を定期開催し、各施設の空室状況の共有、入居相談の際にはニーズに沿った施設が選択できるよう老健・特養・グループホーム・ケアハウスなど連携を図り収益力の向上に務めて参りました。老健・デイケアでは稼働目標達成、グループホーム・居宅では目標未達となりました。

【全体総括】

令和5年度、各事業の稼働では、老健・デイケアにおいては目標稼働達成となりましたが、グループホーム・居宅では目標未達となりR6年度への課題となりました。具体的な取り組みでは、施設内部だけではなく、地域へ目を向け、基本方針には『地域共生社会の実現』とかかげ活動したまいりました。実績では社会福祉協議会・民生委員・地域包括との合同企画として、介護教室や健康支援活動を定期的に関催、栗橋ナーシングホーム翔裕園が地域福祉の活性化、社会資源となるよう取り組みを行ってまいりました。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
老健	R4 実績	98.6	97.2	98.0	96.2	96.2	96.0	95.7	94.4	94.2	93.5	95.4	94.8	95.9%
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0%
	R5 実績	94.7	93.5	92.5	94.7	97.2	97.2	96.0	95.8	97.7	96.0	91.4	95.6	95.2%
通所	R4 実績	91.5	93.0	89.7	89.7	87.2	92.7	87.6	89.3	86.9	89.6	94.7	92.5	90.4%
	R5 目標	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0%
	R5 実績	91.7	93.9	96.4	95.9	92.1	95.0	90.6	94.3	94.1	95.6	97.5	93.3	94.2%
グループホーム	R4 実績	83.2	83.2	85.3	87.4	90.7	94.4	92.1	99.8	91.9	90.7	87.3	85.2	89.3%
	R5 目標	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0%
	R5 実績	87.1	90.5	91.4	88.7	89.8	96.4	100.0	97.0	88.5	85.1	92.3	91.9	91.6%
居宅(件数)	R4 実績	111	109	113	105	108	104	110	112	104	105	107	108	108.0件
	R5 目標	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120	120.0件
	R5 実績	107	110	109	114	110	109	112	113	111	109	107	107	109.8件

令和 5 年度
第 28 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
蓮田ナーシングホーム翔裕園

令和5年度 蓮田ナーシングホーム翔裕園 事業報告

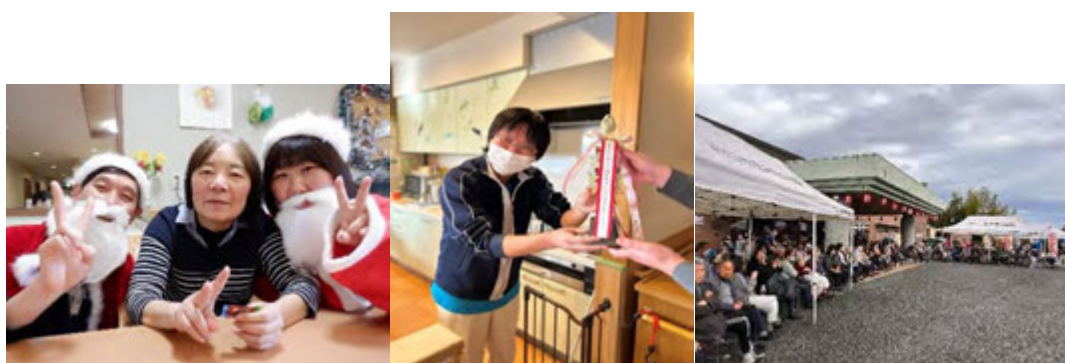
施設基本方針
育つ力を支援に繋げていく
施設年度目標
何事にも積極的に楽しみながら共に成長していく
重点項目に対する実績報告
<p>①差別化/付加価値</p> <p>4月より農園を開園し1年が実践しました。育てる食材を職員自ら選び、育てることへの意識が定着して、次年度に繋がる一年でした。職員とご利用者が一緒に活動する企画でしたが、初めは人員不足でありご利用者が連れて行くことができなかったが下期からは農園まで行くことができるようになり、ジャガイモ・トウモロコシといった作物は順調に育ち、イベント行事食として一緒に調理したり楽しめました。GG式認知症ケアプログラムでは、介護職員が講師として地域の方や民生委員の方々と交流を持ち、介護での現状把握をお互いに理解しあい、共有していく活動ができました</p> <p>②組織力の強化</p> <p>クレド研修では、例年同様朝礼にて曜日ごとに行動指針を朗読し、意識向上を高められました。理念浸透研修は、人員の調整などで、すべての職員が受講する事が叶わず遅れました。従業員満足度調査の結果を見て役職者と話し合い業務の見直しや教育方針を再度確認して次年度につながる取り組みをしました。各部署の職員が他部署を業務内容を理解できるように体験してお互いがどのような業務をしているのかを理解し協力できるかを学びました。</p> <p>③採用力の強化</p> <p>SNSやインスタグラムの投稿は順調に実施しているので、採用活動の情報なども取り入れていきます。特にホームページの更新が忘れていたので次年度はしっかりと更新していきます。全員人事手当の促しをポスト会議以外にも掲示板や各職員に伝達し、一緒に働きたい環境を目指します。</p> <p>④生産性の向上</p> <p>業務の効率化は図れる事が出来ました。「やりたいこと」「したいこと」など自ら企画を考え、実行に移しています。残業代に関しては、コロナ発生時には多く出ましたが通常では行事準備以外ではなく分担制ができました。ご利用者やご家族に満足が得られるイベントを実施して創意工夫をこなしており、育つ力や隠された才能など、稼働向上へ繋がっております。</p> <p>⑤収益力の向上</p> <p>栄養マネジメント強化加算を算定し、収益向上に繋がった。訪問リハビリにおいては、目標数値を上回るサービス量を担ってるほか、訪問リハから他サービスに繋がる流れもでき、円滑なサービスが構築となっています。訪問リハの回数が増えた分、短期集中リハの回数が減少してしまった事があるので第一は老健のリハを中心に次年度は計画をしていきます。</p> <p>【全体総括】</p> <p>農園は順調に実施されていますが、ご利用者や地域の方がと交流の場として実施すること少しずつ出来てきました。包括からの依頼で地域への講演や介護指導をできる環境が始まりました。次年度に向けて良い環境が構築できました。フロア職員も楽しくできる内容を考える力が養ってきて農園をどのようにして発展してご利用者が満足できるように考えています。次年度も農園をキーワードにして地域発信していきます。</p>

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
老健	R4 実績	95.5	93.6	95.7	93.9	96.5	96.2	93.0	94.8	91.6	91.3	97.4	96.7	94.7%
	R5 目標	95.0	96.0	96.0	95.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	95.8%
	R5 実績	94.8	92.5	92.9	95.9	97.0	95.2	96.0	95.4	96.7	96.8	87.8	93.1	94.5%
通所	R4 実績	80.5	85.4	87.8	86.7	67.2	77.9	85.4	89.9	85.9	85.0	85.9	88.0	83.8%
	R5 目標	87.0	88.0	91.0	90.5	90.0	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0	90.3%
	R5 実績	88.4	85.9	85.5	84.7	86.6	85.6	88.1	95.3	87.8	88.2	89.0	85.1	87.5%
居宅 (件数)	R4 実績	207.0	205.0	211.0	204.0	193.0	203.0	202.0	193.0	199.0	189.0	204.0	211.0	201.8件
	R5 目標	202.0	200.0	201.0	202.0	194.0	198.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	199.8件
	R5 実績	210.0	208.0	206.0	208.0	210.0	208.0	203.0	212.0	211.0	213.0	209.0	209.0	208.9件
訪リハ (件数)	R4 実績	90.0	116.0	146.0	168.0	110.0	94.0	166.0	166.0	156.0	74.0	136.0	172.0	132.8件
	R5 目標	150.0	150.0	150.0	155.0	155.0	155.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	151.3件
	R5 実績	166.0	182.0	174.0	160.0	176.0	168.0	187.0	192.0	191.0	193.0	189.0	189.0	180.6件

令和 5 年度
第 15 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村

かわぐち翔裕園

令和5年度 かわぐち翔裕園 事業報告

施設基本方針
「その人らしい暮らしの実現」 ～新たなる挑戦による成長～
施設年度目標
<ul style="list-style-type: none"> ・収益向上のための新規加算算定 ・個々の能力向上のための資格取得 ・ユニットにおける、ご利用者、ご入居者の方との寄り添う余暇活動 ・地域との信頼関係の構築
重点項目に対する実績報告
<p>①差別化/付加価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養では他職種連携により入院者減少を掲げていたが感染による入院、転倒事故による入院者4名と改善できた事故であったため介護機器や見守りセンサー導入必要(2.0人/日→2.9人/日) ・ご家族との信頼関係構築活動である家族参加型誕生日、栄養士による料理クラブは計画通り実施でき好評。 ・GG式認知症プログラムではGOLD認定には至ることができず、対応方法、会話の仕方にバラつきが見られる点もあるため日々の業務の中での習慣性の課題もある <p>②組織力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー会議は、月1回の実施計画を立て実施できたが会議の際の発言者が固定化してしまう点で改善が必要な部分も見えてきているため役割担当者性を導入。 ・入職間もない職員との関係が弱いところがあり入職して1年以内で退職してしまう職員が増えている現状。少しでも職員同士の関係作りができるよう新入職員歓迎会以外に入職懇親会、異文化食を知る会、資格取得祝い、各部署慰労会、目標達成会(かわぐちAWORD)を実施することで共に共感する場を設けていき、コミュニケーションをさらに多く図りチーム力を上げていきます。 <p>③採用力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より採用担当者変更。定期的なハローワーク訪問、掲載写真の投稿により問い合わせ8件、実績6件(昨年度実績:6名採用) ・目標の派遣職員0名。派遣職員数は離職率12.5%と前年度より5%上昇により4名に増加(前年度:+3名)入職して間もない職員が退職傾向にあるため関係作りの課題あり。 ・職員紹介での採用3名。継続して職員紹介カード配布による周知、掲示により紹介手数料削減実施(R5年度:職員紹介10万) <p>④生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIカメラによる動作検知することでの事故防止、密室空間における現状状態の確認業務の削減に取り組み、動画視聴できることでの見えなかった部分での対策が取れるようになったことで同類事故件数は削減できております。アラート反応があった場合でも映像確認のみで居室へ訪室することなく終わることも多く、アラート反応しなくとも映像確認できることで職員の不安要素が減り精神的な負担軽減にもなっております。 ・受診対応は、介護以外に医務課も加わったことでユニット業務負担が軽減できアクティビティ活動、行事活動につながることでできている。 <p>⑤収益力の向上</p> <p>【特養】稼働目標97.7%、実績96.3%。待機者も最低5名は確保、退所後の空所期間5日も達成はできていたが、入院者を削減することができなかった。</p> <p>【短期】特養での空所利用しての稼働107%と安定。活動目標も達成できた。</p> <p>【通所】新規利用(3名/月)増加を目標に掲げ実績2.75名。施設内での活動としてポッチャや栄養課監修の3種のおやつバイキングは評判が良い活動となった。</p> <p>【全体総括】</p> <p>新規加算として特養での日常生活継続支援加算、通所による中重度ケア体制加算による収益増加。前年度より各事業所ともに稼働は増加しているが特養での感染(コロナ、インフルエンザ)による入院等で稼働95%を下回る結果となってしまったこともあるため感染に対する意識向上や対策も必要である。費用面では、クロスシフトや時間外の見える化による周知で人件費意識向上、電気代高騰による節電統一を掲げ経費削減につながることもできた。ご家族を交えた行事は、誕生日会などに参加する方も見られるようになってきたが半数にも満たない現状のため新年度からは次月の行事活動報告をすることで参加人数を増やし施設とケアマネとの関わりを増やす方向で活動。かわぐち翔裕園は、地域連携が弱い部分であるためコミュニティセンターや社会福祉協議会へ訪問することで信頼関係作りが必要。</p>

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	93.8	94.3	94.2	95.9	95.4	94.6	97.9	96.2	97.9	97.9	97.9	96.3	96.0%
	R5 目標	97.5	97.5	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	97.0	97.0	97.5	97.7%
	R5 実績	96.3	96.0	97.0	97.1	96.8	96.2	97.1	96.1	96.5	93.1	94.9	98.4	96.3%
短期	R4 実績	96.6	109.6	112.0	114.2	112.6	106.6	101.2	104.0	104.8	99.0	106.7	112.2	106.6%
	R5 目標	101.5	101.5	101.5	101.5	101.5	101.5	101.5	101.5	101.5	102.0	102.0	101.5	101.6%
	R5 実績	113.3	101.6	102.0	107.4	106.8	108.0	103.3	110.7	114.8	109.7	107.9	101.9	107.3%
通所	R4 実績	85.2	82.0	81.5	74.1	82.6	86.5	90.0	86.5	83.1	80.2	84.8	85.2	83.5%
	R5 目標	86.0	86.5	87.5	87.5	86.5	89.0	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	87.3%
	R5 実績	86.9	88.3	89.9	96.8	93.3	98.0	95.1	91.5	92.9	90.1	90.4	85.9	91.6%
居宅 (件数)	R4 実績	74.5	74.5	79.0	81.5	79.5	77.5	87.5	94.5	88.0	94.0	94.0	94.0	84.9件
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	105.0	105.0	105.0	105.0	100.0件
	R5 実績	104.0	99.5	100.0	105.5	110.5	114.5	113.0	120.0	117.5	111.0	109.5	113.0	109.8件

令和 5 年度
第 6 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村

しょうぶ翔裕園

令和5年度 しょうぶ翔裕園 事業報告

施設基本方針
買い手よし 売り手よし 世間よし
施設年度目標
満足いただけるサービスに見合う収益目標を達成し、 人材採用育成、効率化への投資に活用し安定した収益を確保します。
重点項目に対する実績報告
<p>①差別化/付加価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイケア×リハビリの実践し、ADLの維持のための取り組みで行いました。 ・地域での取り組みとして、オレンジカフェ、子ども食堂、夏のボランティア体験、小・中学校の福祉体験授業等を行いとても好評でした。また久喜市ボランティア祭りにも参加し、展示のお手伝いをさせてもらいました。 <p>②組織力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主任リーダーたちの育成として各役職者の事務分掌を見直し、役割分担を行うことで次世代に繋ぐ準備をしました。 ・理念浸透に関しては、指導時にOUR COMPASSを用いて、理念を根拠に基づき指導することで浸透を目指しました。 ・職員面談ではモチベーション向上のために目標設定シートを作成し、目標達成のための取り組みを一緒に考えています。 <p>③採用力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員人事で、3名の職員を採用することが出来ました。引き続き声をかけて紹介したい施設作りを目指します。 ・派遣職員や特定技能実習生を受け入れを行い、勤務時間別の業務マニュアルの整備、育成プログラムを作成しています。 <p>④生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロスシフトを全ユニットで取り組みことができ、固定の職員への負担を軽減。各ユニットでの残業時間減に取り組みました。その結果有給消化日数も昨年より全体で2日間増やすことが出来ました。 ・見守りカメラ、リフト等の導入のためにデモを行い、引き続き選定しています。 <p>⑤収益力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精力的に地域活動を行ってきたため菖蒲・久喜地区の居宅からの紹介は3倍に増加。引き続き地道に行っていきます。 ・デイサービスでは個々の困りごとの改善に導くようリハビリを行う。また通う楽しみに繋がるリハビリ以外の活動を取り組むことで、ご利用される方のターゲット層を増やしています。 <p>【全体総括】</p> <p>稼働率に関しては、特養は未達。通所は達成しました。今年度、しょうぶでは管理体制が大きく変わった中で、現場を支える主任達がとても頑張ってくれました。まだまだ体制としては整っていないと思いますが、協力し団結を強めていきます。引き続き予算達成の為に職員一丸で取り組んで参ります。</p>

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特養	R4 実績	96.8	98.3	98.4	98.4	97.1	95.8	93.4	95.8	95.7	96.0	96.5	94.7	96.4%
	R5 目標	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5	96.5%
	R5 実績	94.0	92.9	95.8	96.1	97.2	93.8	93.8	94.1	95.3	92.6	96.8	95.1	94.8%
通所	R4 実績	85.7	87.7	91.5	79.7	76.0	92.7	96.2	94.8	90.2	89.3	93.8	87.0	88.7%
	R5 目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0%
	R5 実績	90.3	90.2	90.5	91.0	87.4	88.3	93.2	95.7	92.4	95.5	92.9	91.9	91.6%

令和 5 年度
第 28 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
国見ナーシングホーム翔裕園

令和5年度 国見ナーシングホーム翔裕園 事業報告

施設基本方針

節目、節目を大切にし、ご利用者に寄り添い感動介護を体現する施設になる。

施設年度目標

- ・職員クレドの理解と実践にて価値観を共有し、チームワークを高め、盤石な組織を作る。
- ・共に働く職員同士、いつも笑顔で家族と同様の想いで接し、ありふれた日常を特別な日に変えられる力を身に付ける。
- ・地域との関りを密にし、地域高齢を守るプラットホームを目指す。

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

- ・げんき体操の提供について、入所、デイケアだけでなく、グループ施設のかむりの里とも、Zoomで繋いで定期的の実施が出来、参加者からも好評を得ています。
- ・くにみ式包括ケアの発展に向けて、国見・あおば一体化のパンフレットを作成しました。営業活動に活用するほか、利用相談者に対し、様々なサービスの説明(提案)が出来るようになったことで、在宅介護に不安を持っていた方に希望を与えることも出来ました。

・「節目を大切に」を目標に、ご利用者の誕生日、季節毎の装飾、毎月のアクティビティを行いました。毎月のアクティビティでは、職員も一緒に楽しみながら、ご利用者の生きがい作りにも努め、ご利用者からも、次は何をするのか期待する声も挙がるようになってきました。特に、カップ麺を提供した時

②組織力の強化

- ・「国見NH」と「あおば」が一体化となり、職員間の交流を進めている中で、各職員の経験値や業務に対する意識の違いも課題として見えてきました。これらを改善する上で、コミュニケーションの重要性を痛感し、1on1ミーティングをベースに、職員間の相互理解と、職員のスキルアップを図っています。老健本体との職員の異動も行いながら、くにみ翔裕園として、明確な目標を共有し組織力の強化を図っていきます。
- ・Compassの理解編については、中途採用の職員も含め、ほぼ全職員が受講しております。法人理念や10個のクレドを意識した行動が随所に見られるようになっておりますが、ES調査の結果からも、理解度にバラつきが見て取れます。あおば翔裕園と一体化したことで、職員の意識、目標の共有が更に求められる状況でありますので、今後もCompass研修の実践編を繰り返し行い、課題改善に努めていきます。

③採用力の強化

- ・インスタグラムの更新頻度が上がり、施設での取り組みや現場の雰囲気が、少しずつではあるが、外部に発信出来るようになってきました。新入職員が、仕事の魅力を求職中の後輩に伝える機会があり、施設での介護業務にに対する興味を惹くことに繋がりました。全員人事は、まだ上手く機能してはおりませんが、営業先で施設の求職を相談されるケースがありました。志望理由を聞くと、「いつも楽しそうに仕事をしているから。」との返答を頂きました。これは、我々の行ってきたことが少しずつ認識されてきた結果だと思えます。これからも仕事の魅力を伝えられるよう心掛けていきます。

④生産性の向上

- ・インカムを活用する事で、職員間や他課との情報共有がスムーズに行えるようになり、入浴業務において誘導などの時間短縮も図る事が出来ております。業務短縮が達成出来た結果、時間外を減らすことが出来ました。タイムスケジュールの見直し、業務マニュアルの整備についてはまだまだ改善の余地はありますが、BCPの作成と合わせて、業務の効率化については求められる事案ですので、今後も機器の導入も検討しながら作り上げていきます。

⑤収益力の向上

- ・老健においては、計画に掲げた加算がほぼ計画通りに算定が開始できました。通所リハビリにおいては、10月から定員増を行いました。新規獲得と同じペースで利用終了者が出た為、稼働率が伸び悩む結果となりました。訪問リハ、居宅においても、目標数値には届かなかったものの、前年度の数値を超える事も出来ました。あおばとの一体化運営においてミッションとされていた、老健の在宅強化型算定につきまして、必要な指標値を獲得することが出来ています。次年度は、算定に必要な「充実したリハビリ(週3回以上)の提供」を達成し、強化型算定を下半期より開始致します。全体収益 前年度比 +12,056,476円 達成。

【全体総括】

・節目を大切にすることを目標に掲げた1年でありましたが、季節ごとのイベント開催や装飾を行うことで、ご利用者の日常に変化をもたらすことが出来ました。更に、職員の誕生日には、メッセージカードを送ることで、職員同士の繋がりも強化出来ました。地域貢献におきまして、昨年同様、近隣の市民センターでの文化祭への出展のほか、地域包括支援センター主催の介護予防教室に講師として呼ばれることも多くなり、地域との繋がりも確実なものになってきました。下半期には、あおば翔裕園との一体化運営が新たなミッションとなり、同時に、老健の在宅強化型の算定に向けて動き出すこととなりました。一体化に向けて動き出す中、施設間で、職員の業務に対する意識の相違が見られております。一体化運営を図る上で、施設目標の共有と職員個々のスキルアップが必要です。その為に、Compass研修を繰り返し行い、法人理念の浸透、職員一人一人がクレドを体現出来

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
老健	R4 実績	97.5	97.5	96.2	95.2	95.5	95.3	96.2	97.9	96.4	95.0	95.7	93.9	96.0%
	R5 目標	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98.0%
	R5 実績	94.9	93.9	96.9	96.5	93.6	93.4	95.7	94.1	96.6	96.5	97.2	96.8	95.5%
通所	R4 実績	73.7	74.8	75.5	78.0	76.3	77.7	85.6	89.6	91.4	86.2	88.5	92.0	82.4%
	R5 目標	90.4	90	90	90	90	90	80	82	84	85	85	85	86.8%
	R5 実績	93.9	97.5	97.9	97.9	87.3	89	79.1	78.8	73.7	70.3	72.5	73.6	84.3%
訪リハ (件数)	R4 実績	81.8	75.0	76.1	90.5	78.3	88.2	100.0	99.1	96.4	98.0	107.0	92.2	90.2件
	R5 目標	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95.0件
	R5 実績	89.7	97.1	91.7	88.9	78.3	84.1	79.5	84.8	85.7	93.3	93.6	82.5	87.4件
居宅 (件数)	R4 実績	64.5	64.0	64.0	72.0	63.0	61.0	63.5	63.5	62.0	60.5	59.0	56.0	62.8件
	R5 目標	66.5	68.5	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	69.6件
	R5 実績	66	65	66	64	67	70	70	68	69	64	68	70	67.3件

令和 5 年度
第 8 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
国見あおば翔裕園

令和5年度 国見あおば翔裕園 事業報告

施設基本方針

心が伝わる看護・介護・リハビリの実践

施設年度目標

1. 効率化→無駄をなくす意識を持ち習慣化する(時間、電気、もの、お金)
2. 挑戦→ご利用者の事を想い、してあげたい事を実践する
3. 伝える→相手の気持ちを理解し、寄り添い、納得してもらえるコミュニケーションの実践

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

- ・看多機では自宅訪問時収集した情報をラインワークスで共有。即時サービス変更や調整を行い、柔軟、迅速なサービス提供を行った。
- ・月1回看多機定期カンファレンスを実施し、各担当毎にアセスメントの機会をつくり、個別ニーズの抽出とプラン内容の具体化を行った。
- ・国見NHと協働し、それぞれの事業の特性を活かし、相談のあったご利用者のニーズに対応できる事業を提案し、サービスにつなげた。
- ・看多機医療保険算定者3名。医療保険収入約125万円。医療重度者の受け入れやすく医療機関への営業を継続実施していく。

②組織力の強化

- ・ドローン空撮写真をもとにパンフレット作成。その他創作、おやつレクそれぞれの得意分野を生かし、活動につなげた。
- ・SS事業の人手不足に対して、看多機の空き時間や人員に余裕がある時は事前にSSへの協力体制を確保した。
- ・SSは役職者の退職後より、リーダー不在の状態が長く続いた。国見NHとの業務支援、業務再編の為、無駄の洗い出し、しくみ化された業務の再構築にとりくんだ。2024年度国見NH介護副主任の意向を受け、業務再編を進め、人員削減にも取り組んでいる。

③採用力の強化

- ・全員人事により介護職員正職1名入職。非常勤生活相談員1名入職となった。
- ・定期的にインスタグラム発信したが、特に人員不足となった下期に発信が減った。広報委員の勉強会を開き、内容の充実をはかる。
- ・ジョブメドレー経由での採用1名、当初夜勤専従ダブルワーク非常勤職員であったが、介護正職雇用に移行。採用しやすいルートから雇用し正職登用につなげられた例として今後も継続していく。

④生産性の向上

- ・看多機利用者のニーズに応じて、日勤帯の勤務時間の調整を行った。
- ・SSは人員不足あり、レク内容が少人数、個別でもできる創作活動に偏った。レクのオプションを増やし、誰もが同じ質でレクができるようにする。
- ・業務一体化の方針の下で長年の課題であったSS一名での夜勤体制に対し8H夜勤を増やし、深夜帯2名体制とし負担軽減を図った。
- ・デマンド装置設置、季節によりデマンド上限値を細かく設定し、前年度比較約31万円の電気料削減につなげた

⑤収益力の向上

- ・SS稼働91.9%、看多機87.5%共に稼働目標未達。SSはロング利用者退所後の空床が平均で約16日。最長で31日。空床期間をいかに短くするか課題。国見NH入所待機者や老健対応困難者を受け入れ、くにも施設群の中での囲い込みは一定数できたものの、SSのニーズの減少や空床とのマッチングが上手くいかず空床埋めきれず稼働向上に至っていない。営業によりSSニーズの掘り起こし必要。医療重度者の受け入れ、医療保険算定者3名。医療保険での収益約125万円となったものの、稼働安定せず、収益目標未達となった。医療機関中心に医療ニーズの高い利用者獲得の為、国見NHと一体的な営業を継続していく。

【全体総括】

- ・年度途中より国見NHとの一体化の方針となり、事務、相談、看護、介護の各課レベルで効率化、一体化に取り組んだ。相談業務においては営業活動を中心に全相談員が全事業所を意識し、適所への割り振りや紹介を行った。くにもの多くの事業をご利用いただく方が増えたが、稼働においてはSS、看多機共に低下した。長期施設、とりわけ特養の空きベッドがどの施設もある状態の中で、SSや看多機を飛び越して入所するパターンが増えている。くにも施設群として在宅サービスの提案に加え、地域貢献活動によるくにも翔裕園の認知度を上げていくことが重要。2024年度は新体制のもと、稼働安定とさらなる一体的運営の促進による効率化。EX向上、離職予防を目標に取り組んでゆく。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ショート	R4 実績	94.6	89.6	85.2	94.9	97.1	94.2	96.0	90.1	90.0	72.8	85.9	91.5	90.2%
	R5 目標	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5%
	R5 実績	87.9	92.6	96.3	95.3	92.9	91.5	94.2	88.2	89.1	88.6	93.0	93.3	91.9%
看多機	R4 実績	81.5	84.5	84.6	85.1	91.7	88.2	88.0	92.2	88.6	87.8	81.0	88.0	86.8%
	R5 目標	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0%
	R5 実績	89.6	84.3	93.6	94.0	92.0	90.8	88.2	85.2	87.4	84.9	74.6	85.0	87.5%
訪看	R4 実績	0	0	0	0	0	0	3	4	8	8	8	8	3.3件
	R5 目標	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0件
	R5 実績	8	10	8	13	11	14	8	7	8	4	4	4	8.3件

令和 5 年度
第 19 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



センター瓢箪池の睡蓮、丹頂鶴、花

社会福祉法人元気村
仙台市亀岡老人福祉センター

令和 5 年度
第 20 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
南方ナーシングホーム翔裕園
南方グループホーム翔裕園

令和5年度 南方ナーシングホーム翔裕園 事業報告

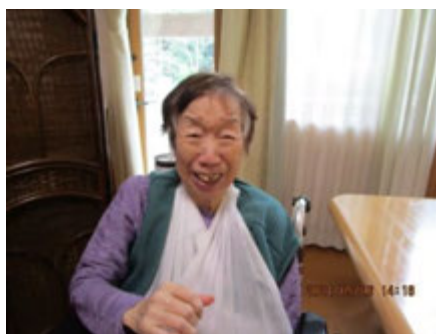
施設基本方針	
職員が持つ力を最大限活かし、全員が人事・全員が営業担当となる ～常に明るく元気にポジティブな発想を～	
施設年度目標	
①在宅強化型の早期復帰、定着化(指標60以上の確保と言語聴覚士配置にて摂食嚥下リハで在宅復帰支援を強化) ②外国籍人材の受け入れと定着(多国籍職員が働ける職場環境を整える) ③地域への恩返し(地域へ積極的に発信、地域貢献活動を展開し地域の方が集える場の提供)	
重点項目に対する実績報告	
①差別化/付加価値	<ul style="list-style-type: none"> 他課と連携を図り入所前後訪問指導、退所前後訪問指導を実施し、ケアプランに反映することができ、定期的に在宅復帰支援を行うことができた。また、方向性が確定していない利用者へのアプローチもご家族・本人と相談しケアプランに反映し支援することができた。 月1回の会議を継続し、「在宅復帰・在宅療養支援等指標」の数値を管理し強化型算定出来ている。また、元気村G老健チームでの蓮田NH・栗橋NHへ施設見学、大田NHとのMTG実施にて成功事例を真似ぶことで強化型のノウハウを得て継続していく。 稼働率向上の方策として受入比率を現状病院7:居宅3→病院5:居宅5となるため、Aランク事業所に的を絞り営業を強化した。 居宅ケアマネ向け、地域住民向けのリハビリ体験会を2回実施しPRを行った。参加を通して申し込みが増えている。 充実したリハビリの実施、自宅訪問評価を行い在宅復帰に向けての支援を行うことができた。言語聴覚士が4月から入職し、口腔機能・嚥下機能の評価・訓練実施出来ている。 「まちナビYouTube」を活用した施設PRの実施、翔裕園の日では4年ぶりに地域住民300名との交流が叶った。また、新しい試みとして、地域夏祭りの神輿の担ぎ手として参加、地域運動会への参加、地域幼稚園との合同イベント、南方幼稚園防火クラブを南方NH内で実施、地域どんと祭裸参りに元気グループとして参列をすることができ、地域へのPR、交流の強化が行えた。 利用者の目標をリハビリ会議で聞き取り「こうなりたい」に近づけられるように活動実施。利用者の活動内容を「見える化」にすることでスタッフ間の情報共有もでき、活動の充実も図れている。スタッフ間でサポートに悩んだときは、セラピストに指導をして頂きスタッフのスキルアップにもなり、活動内容の質の向上にも繋げられている。 サポーター養成講座、ステップアップ講座主催に関しては未達。 チームオレンジについて:長寿介護課、包括職員と連携し、9/21アルツハイマーデイの際、地域商店や道の駅にて認知症啓発活動実施。南方から職員5名参加。その他マルシェイベントや翔裕園の際に介護お悩み相談ブースを設置。チラシ配布行い活動を長寿介護課、包括へ報告。その後翔裕園職員3名認知症サポーターステップアップ講座受講、登米市の地域活動協力員へ登録。地域住民、長寿包括職員と共に登米市のチームオレンジ「オレンジドンキー」を結成できた。
②組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> Teamsを使用し、外部研修の発信を行った。興味を持った職員もおり、以前よりも外部研修への参加の意欲が上がった。 部署内では主に課長クラスが各課に入り、課題の抽出やサポートを行うことができた。 東北ブロックでは各部会を通して交換研修を行うことができ、他事業所を知り、業務効率アップ、相互牽制を行うことができた。計画的にはいかなかったが、各課ラウンドは行えた。また定期面談を実施することで、職員の「してあげたい」や課題の早期把握し各担当へ早期に伝える、また検討を一緒に行えた。
③採用力の強化	<ul style="list-style-type: none"> 登米総合産業高校との打ち合わせを実施。実施内容を作成するも、学校側の予定が合わず。 次年度、継続して実施向け動いていく。 施設見学実施時、学生の興味のある課へのアプローチを行い、専門職からのお話を交え見学を実施することが出来た。 福祉系高校介護実習生20名受入れ、3年生6名のうち2名採用できた。 福祉課以外からの採用も考え登米総合産業高校との連携で農業科と花植えのコラボ企画実施、商業科では、元気餃子の販売企画を検討することができた。引き続き福祉課以外との連携を継続し、採用の幅を広げていく。 「全員人事」の普及活動として外部業者と連携し施設オリジナル紹介カードを作成し配布、 全職員100名×1人10枚=「1000人プロジェクト」挑戦実施。職員紹介により看護師、介護職員の面接採用に繋がった。 新規ベトナム国籍特定技能2名を採用。事業推進課を主に介護課と連携し、指導を行った。来年度は更に強化、10%採用を行うため、海外人材支援委員会を設立し対応していく。
④生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 老健、デイケアで検討。デモを実施し、老健では寝位浴を先行導入。 老健中間浴は、デモを実施も、建物上導入が困難であったため、引き続き導入に向け業者と情報共有を行う。 デイケアで導入中間浴を決定。今後導入に向け業者と動いていく。
⑤収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 9月より認知症短期集中リハビリテーション実施加算の算定を開始し、デイケア・本体合わせて約90万円収入増に貢献できた。 言語聴覚士が4月から入職し、デイケア・本体だけではなく訪問リハビリでも口腔機能・嚥下機能の評価と訓練を実施している。 また、地域に向けたチラシを作成し利用者数向上を図るようPRを行った。 7月より増員が行われている。R4年度との比較では約6,600千円の収益増となっている。 訪問事業の少ない未開拓エリアへ進出しご利用者ニーズを発掘、ラッピングカー(現在考案進行中)を用いた新しい営業スタイルで新規獲得。歩行分析アプリ「トルト」デモ開始。身体機能の変化を可視化し担当ケアマネに即座に伝えることでニーズが深まる。 近隣小学校との交流会時にヤングケアラーについて説明し翔裕園が拠り所になれることを理解して貰えた。
【全体総括】	
年度目標の①在宅強化型の早期復帰・定着化については、年度初期にグループ内他老健との連携を図り、真似び(学び)によって目標にして下前期から強化型を再算定することができ、また1か月ではあるが超強化型の算定も行った。また、上半期では老健本体の稼働率低迷から収益・利益ともに予算未達となったが、強化型の見据え戦略的に在宅と病院の受け入れ比率目標を5:5とし地域への営業を強化・実施したことで、下半期には稼働率の向上と強化型算定の継続により収益・利益ともに巻き返しが図れた。また、コロナの5類移行に伴い、地域への貢献活動など地域への参加・発信を積極的に再開・実施できた1年だった。課題として、離職率の高さ・採用にかかる費用が多いため、次年度は組織力・採用力の強化に注力し費用を抑え、より安定した経営・運営を目標としていく。	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
老健	R4 実績	95.3	94.1	88.3	90.9	88.6	87.3	90.3	92.6	91.7	88.0	86.5	88.2	90.2%
	R5 目標	91.0	92.0	92.0	94.0	93.0	93.0	94.0	94.0	92.0	93.0	94.0	94.0	93.0%
	R5 実績	89.2	86.8	81.7	84.1	81.0	82.3	87.4	89.7	96.7	92.3	92.8	88.3	87.7%
通所	R4 実績	86.9	86.6	85.2	86.9	75.6	85.6	85.3	88.1	85.6	91.2	87.5	86.8	85.9%
	R5 目標	87.0	87.0	88.0	88.0	87.0	88.0	88.0	88.0	87.0	89.0	90.0	89.0	88.0%
	R5 実績	91.1	90.9	89.6	86.2	81.4	81.0	85.1	81.8	84.4	84.0	77.6	86.5	85.0%
訪リハ	R4 実績	7	7	8	7	6	9	9	9	11	10	10	9	8.5件
	R5 目標	11	11	12	12	12	13	13	13	13	14	14	15	12.8件
	R5 実績	9	8	8	8	8	8	9	10	10	13	14	13	9.8件
居宅	R4 実績	105	113	107	109	103	106	111	108	108	104	98	105	106.4件
	R5 目標	105	106	107	108	109	110	110	111	112	113	114	115	110.0件
	R5 実績	103	96	91.5	91.5	91.5	89	92	94.5	87.5	91.5	91	91	92.5件
グループホーム	R4 実績	100.0	100.0	100.2	100.0	100.0	100.0	100.0	96.9	100.7	100.0	100.0	100.0	99.8%
	R5 目標	99.0	99.0	97.0	99.0	99.0	98.0	98.0	97.0	97.0	97.0	98.0	98.0	98.0%
	R5 実績	100.0	100.0	100.0	98.7	100.0	100.0	100.0	100.0	98.2	98.2	100.0	99.3	99.5%

令和 5 年度
第 16 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
ケアホテルすみさん家

令和5年度 ケアホテルすみさん家 事業報告

施設基本方針

きめ細かなサービスを実施し、地域において1番に選ばれる施設を目指す。

施設年度目標

- ・利用者に向き合い、利用者のペースに合わせたケアを実施し、安心感のあるサービスを提供する。
- ・職員全員がより高い意識をもって業務を行う。

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

重度認知症利用者の受け入れについては、各居宅介護支援事業所・ケアマネへの周知も行い、利用者中70%の方が認知症の診断を受けている。
認知症についての研修については、より専門的な知識・技術習得のため、3か月に1回のペースで定期的実施し、理論的な確認のほか日常業務における課題や疑問についても話し合う機会を持つことができた。
「認知症専門ケア加算」の算定については、算定基準を満たすことができず、次年度への課題となった。

②組織力の強化

理念浸透については、昨年に引き続き、毎月の全体会議や研修等を通して全職員へ浸透を図ることができた。
新入職員についても同様に研修等活用し、法人の理念や施設方針の理解を図り、業務に就くよう努めることができた。
職員同士が気軽にコミュニケーションをとれるよう導入した「ありがとう」カードは、全職員間ではできなかった部分があるが、職員間の理解が広がり、気づき等にもつながっているため、引き続き行っていく。

③採用力の強化

職員それぞれが「全員人事」の意識をもって、家族や知人に自慢できる施設づくりを目指しているが、残念ながら職員採用には至らなかった。2月、3月に相次いで介護職員の退職があり、現在業務支援を受けている状態にある。
法人本部とも協議を進めながら、待遇面などの改善を含め求人へのアピールを行い、紹介会社に頼らない職員採用を目指したい。

④生産性の向上

夜勤勤務可能者の増員を目指し指導を進めていたが、個人の体調や資質から増員とは至らなかった。
そして退職者が出たことで、夜勤勤務の回数を減らし、職員個々の負担を軽減することはできなかった。
今後は、採用職員に対して丁寧な指導・育成により、夜勤勤務可能者の増員を図っていく。

⑤収益力の向上

目標稼働率98%以上の達成については、11月と3月に稼働率の減少があったが、最終値98.2%と目標を達成することができた。
あわせて重度利用者の受け入れについては、平均介護度が3以上となっており、引き続きこの数値の維持・向上を図っていきたい。
3月の稼働率減少については、施設入所のほか入院による退所があり空室が出てしまったため、待機利用者の確保についてケアマネとの連携を深めていく。

⑥その他「地域貢献事業」

地元自治会との「あんしんネットワーク」創設に向けて、「翔裕園の日」において交流を持ったことをはじめとして、自治会長との間で継続的に連絡を取り、説明会の実施等について打ち合わせを行っている。

【全体総括】

年度途中にて生活相談員の交代があり、また年度末には介護職員の大量退職があった中で、業務支援を受けながら何とか現場を回し、利用者にご迷惑が掛からないよう取り組んできた。
目標稼働率に合わせて平均介護度についても目標を達成できたことは評価できると思う。
今後は職員の採用・定着を図り、サービスの質を高めていくとともに、目標値の維持・向上に努めていきたい。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
短期	R4 実績	100.0	98.7	94.0	99.8	98.4	99.0	92.3	94.3	98.4	99.7	100.0	99.4	97.8%
	R5 目標	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0%
	R5 実績	100.0	90.3	98.8	100.0	99.7	100.2	99.8	95.3	100.0	100.0	100.0	94.5	98.2%

令和 5 年度
第 10 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
たかのす翔裕園

令和5年度 たかのす翔裕園 事業報告

施設基本方針

施設開設10年目の年、仲間が笑顔でいられる施設、職員力向上で働きやすい職場づくりを目指す

施設年度目標

1. 正職員の増加と幹部職員育成を図り、地域で1番に必要とされる施設づくり、職員力向上を図ります
2. 適正な人員の確保で、営業体制を整え、2か月先の入居者・待機者獲得、安定収益維持を図る
3. 施設内共有スペースの確保、環境整備を常に行い、働きやすい職場創りを進める

重点項目に対する実績報告

①差別化/付加価値

5月の施設内コロナ感染クラスター発生、また、職員の退社等が下半期も続き、計画的な研修が出来ず、反省の1年となりました。アクティビティプラン企画は、担当職員主体に実施、入居者参加で喜んで頂きました。ご家族も参加の納涼祭や物づくり、それぞれの誕生日会など実施。環境整備は遅れながらの実施となりました。6年度は、コロナ等の施設内感染防止対策も含め、空間スペース確保を図り、安心できる施設を確立する。

②組織力の強化

パート職員1名、正職員へ昇格できましたが、新規採用が遅れ、職員力向上が出来ませんでした。職員との打ち合わせ、意見より即対応に努めました。経常黒字実績より、賃金改定を6年度進め、働きやすい職場、職員定着に繋げていく。

③採用力の強化

8月、佐藤施設長(みさとの社)のご協力を頂き、北秋田市移住・就活セミナーへ参加、施設アピールは出来ました。2月相談員1名採用できましたが、11月調理員パート1名(紹介)と2月介護契約職員1名(ハローワーク)採用した方は2か月で退職。3月、調理員パート1名、通勤時に自損事故発生後、病欠で、調理責任者、施設長等が毎日現場対応の状況、5月末迄に、改善出来るよう取り組んでいる。

④生産性の向上

新たな職員採用が計画通りにいかず、人件費率全体で、52.4%(有料58.6%、訪問介護47.9%)実績、6年度職員採用優先課題です。第4四半期より、すみさん家との一体化に向けた取組みをスタート、6年度は人員、食事仕入れなど計画的に進めます。

⑤収益力の向上

上半期9月で、27名の入居者に回復しましたが、下半期は急な退去の方が多く、収益の落込カバーが出来ませんでした。食費価格、水道光熱費については、予算を下回る実績で、改定の判断と出来ず、仕入れ価格高騰継続から、6年度10月改定を進める。

【全体総括】

収益80,228千円実績、目標比-2,294千円、収益達成率97.2%。平均稼働率92.7%実績、目標比-2.3%、暖冬のより、自宅にも戻る方等、3月急な退去有、マイナス要因をカバーできず、又ご家族入居承諾も、本人の同意得られない方も有、入居者27名維持が出来なかった。経常増減差額は、8,563千円見込、経常達成率207%、人件費や光熱費などの実績より、予算を上回る黒字実績。6年度は職員採用を図り入居者獲得できる営業体制を確立すること、働きやすい職場づくり、すみさん家との一体化に取り組めます。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
有料	R4 実績	96.4	99.3	99.0	97.9	95.4	93.0	99.8	98.0	93.1	96.4	98.5	94.4	96.8%
	R5 目標	92.5	92.5	94.0	96.0	96.0	95.0	96.0	95.0	96.0	96.0	95.0	96.0	95.0%
	R5 実績	95.8	92.9	91.8	86.5	95.2	96.2	96.1	89.6	91.2	92.9	95.6	88.6	92.7%
訪問介護	R4 実績	86.7	82.2	85	84.7	82.4	82.8	82.7	81.9	74.4	80.8	85.2	88.1	83.1%
	R5 目標	84.5	87	88	90	91	91	92	89	92	91	86	90	89.3%
	R5 実績	89.4	86.7	85.7	79.4	88.1	89.8	88.7	87	86.6	85.3	89.1	82.7	86.5%

令和 5 年度
第 9 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
くまもと龍田翔裕園

令和5年度 くまもと龍田翔裕園 事業報告

施設基本方針
個々の自発性の向上に努め、自らも楽しみながらサービスの提供を行っていく
施設年度目標
毎月新規10件獲得し、稼働率95%を目標とする
重点項目に対する実績報告
<p>①差別化/付加価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ個々の目標を公表、周知し、評価し合うことでサービスの質を高める ⇒ ・相談員2名体制にて土日勤務し急なご利用にも対応でき即受け入れていく体制にしている ⇒土日相談員を置くことでケアマネさんより安心できる、急な相談ですがと電話をもらうことが増えた。即対応できることで次のサービスへつなげることができた。 <p>②組織力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブリーダー選出により教育面に力を入れサービスの質を高めていく ⇒二本柱になることにより相談の幅、回数が増えた。一方方向の意見から多方面に広がったことで話し合いが増えた。 ・リーダー、サブリーダーと共にスタッフ面談を行い信頼関係の再構築にて離職率低減に努める ⇒面談回数が以前より増えコミュニケーションが多く取れたが、もう少し小まめな面談、会話が必要だった。 <p>③採用力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離職率ゼロ。採用は中途にて随時補充 ⇒Q3までは離職率ゼロでしたが1月に体調不良などで退職者続いた。退職者が重なったことで紹介会社を使うこととなりうまく人員補充ができなかった。派遣を使うことで対応行った。 <p>④生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アプリを活用し仕事効率化を図る ⇒今期は荷物チェックアプリと記録をパソコンに移行しました。荷物チェックは写真で見ながら消し込むことができ以前より大幅に時間を短縮できています。記録に関しては連携する書類が多いため1度に終わり、手書きよりも30分～1時間程度机に座りっぱなしという時間を削減できています。 <p>⑤収益力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期利用者の体調管理と指導にて稼働率の変化を避ける ⇒換気、水分補給など以前より小まめに行うことができた。後半にはインフルエンザやコロナの蔓延がなく稼働の変化少なかったが自宅での転倒が多くこちらでの稼働低下が目立った。 ・月10件の新規獲得 ⇒10件はクリアしていたので7月より15件にあげ年間平均は18件でした。新規件数のおおよそ半数ほどが契約のみの方でしたので新規を多くとることで実働数を増やすことができました。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
短期	R4 実績	100.0	102.0	91.0	98.0	100.0	97.6	95.0	95.0	62.0	86.0	83.0	85.4	91.3%
	R5 目標	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0%
	R5 実績	82.0	85.0	77.0	84.4	74.0	78.0	82.7	94.0	89.0	87.5	87.0	93.0	84.5%

令和 5 年度
第 7 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
西原ケアタウン元気村

令和5年度 西原ケアタウン元気村 事業報告

施設基本方針
その人らしく生きがいを持った暮らしが実現できる施設運営を目指す
施設年度目標
①入居者様一人ひとりが快適に楽しく過ごせるよう満足度の向上を ②通所・訪問は外部利用者の獲得・短期は新規利用者の獲得とリピート率を上げる ③最期を迎えられる体制の準備
重点項目に対する実績報告
①差別化/付加価値 ・シニアハウス満床と待機者の確保 ⇒平均入居稼働率目標90%に対して96.8% ・入居者様やご家族、地域の方々も参加できるイベントの実施(年間行事+納涼祭+家族) ⇒毎月実施し、高い評価も頂けた ・多職種間での情報共有と連携を図り、入院させない最期を迎えられるケアの実施 ⇒主治医・訪看との連携は図れていたが、防げない事故による入院もあった。看取りケアは今後も積極的に行っていく
②組織力の強化 ・理念浸透研修の実施により、全職員が受講できる ⇒3月末までの入職者は受講済み ・グループ会社との情報共有・連携を図り、要介護者の取りこぼしを防ぎ、グループの強みとする ⇒要である居宅との連携に欠ける点があった為、反省点も含め次年度に繋げていく
③採用力の強化 ・中途にて随時補充 ⇒目標通り実施 ・職員紹介(インセンティブ)の強化 ⇒全員人事にて5名の入職に繋がった
④生産性の向上 ・業務マニュアルの見直しとタブレットの活用にて業務時間の短縮化 ⇒取り組みに遅れた為、次年度一日から実施とする
⑤収益力の向上 ・ショート→シニアハウス→入居。在宅のヘルパー利用→デイ利用へ繋げられるような体制作り ⇒取り組んだが、目標未達の結果となる ・協力医と訪看との連携を図り、入院を回避する事で入居率の安定を図る ⇒回避できない入院はあったが、入居率は目標維持できた
【全体総括】 通所・訪問、共に入居者の利用率に頼っていたため、入院となると利用率に影響し、目標未達となった。 次年度の通所は外部利用者率を上げ、入居者は訪問サービスにて支援していく事とします。 5月にリニューアルオープンした住宅型有料に関しても、サ高住同様、訪問サービス導入を主体とし、まずは早期満床としていきたい。

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
サ高住	R4 実績	16.0	36.0	46.0	52.0	60.0	60.0	64.0	80.0	84.0	88.0	88.0	90.0	63.7%
	R5 目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0%
	R5 実績	96.0	100.0	99.0	94.0	94.0	98.0	100.0	100.0	96.0	96.0	94.0	94.0	96.8%
短期	R4 実績	98.0	100.0	96.3	99.3	100.0	97.8	87.0	69.1	69.0	88.2	76.9	78.4	88.3%
	R5 目標	74.0	76.0	78.0	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0	92.0	92.0	92.0	84.5%
	R5 実績	80.5	66.6	58.0	56.7	77.0	70.0	49.0						65.4%
通所	R4 実績	16.5	33.5	48.8	57.5	63.1	65.7	66.0	76.3	64.1	76.3	87.0	88.0	61.9%
	R5 目標	80.0	80.0	82.0	82.0	84.0	84.0	86.0	86.0	88.0	88.0	90.0	90.0	85.0%
	R5 実績	95.2	96.1	60.4	71.3	77.5	78.0	87.0	85.8	86.9	76.6	83.3	87.0	82.1%
訪問介護	R4 実績	37	122	256	332	331	384	475	462	818	801	795	960	481.1件
	R5 目標	761	799	837	875	898	913	928	951	974	989	1027	1027	914.9件
	R5 実績	1099	1341	1390	1132	1279	1173	1128	1139	1197	855	1003	1071	1150.6件

令和 5 年度
第 1 期
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1日
至 令和 6 年 3 月 31日



社会福祉法人元気村
くにさき翔裕園

令和5年度 くにさき翔裕園 事業報告

施設基本方針	
”和顔愛語”～全職員一丸となってクレドを笑顔で実践する～	
施設年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・中核職員、管理者候補の育成。適正な人員配置をし、指導、教育体制を整える。 ・記録システム導入、ナースコールとの連動など業務効率化。 ・敷地内の広いスペースを活かしたイベント開催。入居者様と職員と一緒に時間を過ごす”憩いの場”とする(バーベキュー、カフェテラス、ピクニック、屋台) 	
重点項目に対する実績報告	
<p>①差別化/付加価値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・趣味、遊びができる。やりたいことを叶える場所。食事、買い物、散歩、嗜み、ペット、認知症予防、祭りに参加。 →ペット同伴入居は1件あり、次年度新規入居者でも予定あり。隣接するドラッグストアへの買い物や外出について自由に行っていたできるようにしている。施設としてのイベントについては2度開催したが、目標回数には届いていないため次年度へ課題として、「知ってもらい、足を運んでもらえる」をテーマに実施していく。 <p>②組織力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の全体ミーティングを行い、情報を共有し意思決定を行う。 ・理念研修実施。「理念への共感」、「やりがいを持って働ける環境」の職員満足度50%以上とする。 →毎月のミーティングについては滞りなく実施することが出来たが、議題が多く整理できていないため、分化して各ミーティングを設置するところまで行えた。理念研修については滞ってしまったこともあり、理念浸透や満足度評価については低い点数として表れた。次年度については、一度に受講することが出来ないため、毎月開催していける体制を作っていく。 <p>③採用力の強化</p> <p>ハローワークでの反響が一番強く、また採用数が最も多かった。理念に共有していただける方、地元へ貢献したい方といったところを重要視して今後も採用を進める。介護、看護での離職はほぼ無かった。特定技能実習生の法人グループへの異動、新規受け入れを行い、外国籍職員の活躍の場をもっと広げていきたいと同時に将来的な人財不足も解消していきたい。また外国籍職員の受け入れだけではなく、経験を積むための異動など他施設と協力して行っていきたい。</p> <p>④生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC・タブレット記録の活用による業務効率化。 →記録については、手書きのものが主であったが、タブレット・PCを使用したケア記録ソフトを導入し定着している。 次年度は、介護記録だけではなく、ケアプランについても効率化を図り、対利用者・家族へ対応する時間を確保していく。 <p>⑤収益力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関への空床案内。(病院、包括、居宅など)。入居紹介サイトの更新を2週間以内に適宜行い、検索上位を維持し、特定満床の維持。 目標であったが進まなかったこととして、特定の満床維持と住宅型の入居促進のところであり、各種広告や、居宅・病院等への営業活動は毎月行っていたが、予想に反し、問い合わせや相談は増加しなかった。年度末頃から増加傾向ではあるが、新規入居を獲得することを第一優先として行っていく。 <p>【全体総括】</p> <p>特定施設については、38部屋中、平均34部屋は稼働していたが、空室への対応が進まなかった。また要支援者については15名開始の10名まで減少したが、経営上要支援者は限りなくゼロに近づけること、要介護者の入居がより重要な課題となる。</p> <p>住宅型については、第1号入居者が8月から開始が遅れた。利用者募集が遅れたこともあるが、居室の整備や受入れ体制の構築など時間と費用を要した。介護付きと住宅型が共存する中で、各利用者がどのような生活になるかを想定した上で、適正な業務体制を構築し対応していくスキルを上げていくかを課題として、介護付への要介護者の入居、住宅型新規入居を優先事項として取り組む。</p>	

年間数値目標と実績(利用率)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特定	R4 実績													#DIV/0!
	R5 目標	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0	97.0%
	R5 実績	84.8	89.9	94.0	97.0	98.8	86.8	83.2	88.7	88.6	87.7	90.7	88.1	89.9%
住宅型	R4 実績													#DIV/0!
	R5 目標	0.0	0.0	10.7	17.9	25.0	35.7	43.9	53.6	60.7	64.3	71.4	71.4	37.9%
	R5 実績	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	6.4	9.1	10.7	10.7	10.7	14.3	20.2	7.3%